

委員長 工藤 圭介
担当副理事長 伊藤 喬史

基本方針

- ①柔軟で開かれた組織の発信
- ⑥SDGsにおける社会圏分野の推進

■設置背景

情報発信においてはホームページに加え、近年では気軽に閲覧しやすい動画などを活用した SNS を通じての発信にも力を入れてまいりました。地域をより良いものに変化させることを目的とした我々の活動内容を発信し続ける事で、賛同頂ける人々と共にまちづくりへ歩みを進める重要な活動です。地域の人々と寄り添い、明るい豊かな社会を築き上げる上で情報発信はこれからも必要不可欠です。

■設置目的

様々な情報発信手段がある今の時代に即した手法で、地域の人々へ持続的且つ効率的な発信を行う事を目的とします。

事業計画

事業名	年月	予算	公益
1.4月定例会事業 (地域活性化事業)	2022年 4月	300,000円	○
2.8月定例会対内事業 (会員交流事業)	2022年 8月	50,000円	
3.2023年度松原発行 (事業紹介卒業生・新入会員の紹介)	2023年 1月	70,000円	
2022年度年次資料・ 会員名簿作成	2021年 11月~ 12月	0円	
選挙管理委員会設置	6月	0円	
理事長監事選出委員会選出委員選挙	7月	0円	
5%理事選挙	8月	0円	
SNSの発信	通年	0円	
ホームページ及びデータ記録 管理	通年	0円	
総会並びに定例会セミナー運営	通年	0円	
会員拡大運動	通年	0円	

■1.4月定例会事業（地域活性化事業）

職務分掌：1. 社会圏分野を推進する事業

- 1) 実施に至る背景：
新型コロナウイルス感染者が全国的に減少し、人々の暮らしも徐々に感染拡大前の平穏な状況に戻りつつあります。こんな時だからこそコロナ禍によって疲弊したこの地域を活性化させる事業を我々能代青年会議所が率先して行う必要があります。
- 2) 目的：
(対外) 地域に住み暮らす人々、観光で訪れる地域外の方々の方に忘れられない思い出を残す地域活性化事業を行う事を目的とします。
- 3) 実施期間：
2022年4月（4月定例会扱いにより）
- 4) 事業内容：
人々の思い出に残り、そしてその思いを発信、共有できる場を創出し、地域内の交流人口を増やし、地域活性化に繋げる事業を行います。

■2.8月定例会対内事業（会員交流事業）

職務分掌：2. 対内事業

- 1) 実施に至る背景：
昨年は新型コロナウイルスの影響で活動の縮小があり、メンバー同士の交流や発信の機会も当初の予定より減少しました。感染が収束しつつある今こそメンバー同士の絆づくりの機会を提供する必要があります。
- 2) 目的：
会員同志のさらなる絆を育み強固な結束力を醸成し、一人ひとりが青年会議所運動の理念発信を行える環境を構築する事を目的とします。
- 3) 実施期間：
2022年8月（8月定例会扱いにより）
- 4) 事業内容：
会員交流の場を設け、会員相互の親睦を深めます。

■3.2023年度松原発行（事業紹介卒業生・新入会員の紹介）

職務分掌：3. 2023年度 松原発行

- 1) 実施に至る背景：
例年発行を行っている広報誌「松原」は、我々の活動を地域の方々に伝える重要な媒体です。委員会職務担当分掌にも記載されている通り今後も継続し発行する必要があります。
- 2) 目的：
我々の活動内容を地域内外の方々へ周知、賛同頂ける事を目的とします。
- 3) 実施期間：
2023年1月（1月発行により）
- 4) 事業内容：
原稿内容の作成、印刷依頼、加えて電子書籍版も同時発行します。

委員長 平川 真実
 担当副理事長 大森 啓正

基本方針

- ②公益性を有する事業の実施
 ⑥SDGsにおける社会圏分野の推進

■設置背景

一昨年から続くコロナ禍によってLOMのみならず、社会のシステムや教育の在り方にも大きな変革が見られてきており、子供達も予測困難な社会で暮らしています。我々は次代の希望となる子供達が目まぐるしく変化する社会を前向きに受け止め、今よりも主体的に未来を見据えて行動する子供達で溢れる地域を目指す必要があります。

■設置目的

今までとは異なる観点から物事を考える力と、子供達自身が思い描く未来へ突き進む精神性を育むことを目的とします。

事業計画

事業名	年月	予算	公益
1. 2月定例会（人生を切り開くチャレンジ精神のベースを構築する例会）	2022年 2月	20,000円	
2. 6月定例会（教育の多様性を考える）	2022年 6月	100,000円	
3. 10月定例会（自らの強みを発見する事業）	2022年 10月	200,000円	○
天空の不夜城協議会への協力対応	通年	0円	
会員拡大運動	通年	0円	

■1. 2月定例会（人生を切り開くチャレンジ精神のベースを構築する例会） 職務分掌：1. 社会圏分野を推進する事業

1) 実施に至る背景：

新型コロナウイルス感染拡大をはじめとする昨今の社会情勢の変化に伴い、これまでの何気ない日常が送れなくなったことに不安やストレスを感じる場面が多くなりました。しかし、大変な状況だからこそ、今までの考えとは違った角度から物事にア

プローチし、視点や焦点を変化させることで解釈を拡大させ前進していく必要があります。

2) 目的：

一つの出来事や事実に対し、幅広い視点で考える力を養うとともに、強固な精神力を醸成、維持することを目的とします。

3) 実施期間：

2022年2月（2月定例会扱いにより）

4) 事業内容：

対内向けグループワーク主体の定例会を行います。

■2. 6月定例会（教育の多様性を考える）

職務分掌：2. 青少年育成事業

1) 実施に至る背景：

現代の共生社会の発展に伴い、教育における多様性という視点は、様々な形をもって制度化されてきています。学校教育では、個々の能力や多様な事情に応じた教育、制度が十分に整っていると難しい状況です。子供達一人ひとりが自分の能力や可能性を模索し、自らの未来を切り開く力を養う必要があります。

2) 目的：

子供達に多様な人がいるということを知ってもらい、互いの個性を尊重する意識を育むとともに、豊かに生きる姿勢を身に付けることを目的とします。

3) 実施期間：

2022年6月（6月定例会扱いにより）

4) 事業内容：

子供達を含む、住民参加型の青少年育成事業を行います。

■3. 2023年度松原発行（事業紹介卒業生・新入会員の紹介）

職務分掌：3. 公益事業

1) 実施に至る背景：

日本の教育は、決められた学習内容とルール、管理された学校生活の中で自主性を育てられてきました。しかし、自ら考えて選択し、行動するという主体性を発揮する機会は少なく、主体的に生きることが不可欠な社会で生き残っていくことが困難な状況です。不易流行、変えなくてよいこと、変えなければいけないことを見極めていく必要があります。

2) 目的：

教育で教えている社会と現実社会とのギャップを埋め、正解のない予測不能な社会を生きる上で必要なことを明確にし、子供達が主体的に学びに行き、情報収集、編集を行うことができるきっかけ作りを目的とします。

3) 実施期間：

2022年10月（10月定例会扱いにより）

4) 事業内容：

地域の特色を生かした青少年育成事業を行います。

委員長 飯坂 隼
担当副理事長 大塚 一生

基本方針

③未来を切り拓く人材の発掘

⑥社会圏領域の推進

■設置背景

青年世代の減少や地域経済の停滞に伴い、会員数の減少が進んでいます。青年経済人としての価値をもち続け、J C運動の魅力に共感できる仲間を増やし、地域を牽引していく人材を輩出する学び舎として進化していく必要があります。

■設置目的

拡大運動を行う上で、能代青年会議所の現状を再認識し今後のJ C運動を継続していくために全会員が当事者意識を強くもち、今まで以上に拡大の必要性をもって組織を強化していくことを目的とします。

事業計画

事業名	年月	予算	公益
1. 会員拡大2022	2022年 2月	0円	
2. 3月定例会 対外交流事業 (異業種交流会)	2022年 3月	50,000円	○
3. 11月定例会 (SDGsを 学ぶ例会)	2022年 11月	50,000円	
クリーンアップ (風の松原ク リーンアップへの協力対応)	2022年 4月	0円	
しのめ夏祭り	2022年 7月	0円	
のしろこどもまつり	2022年 7月	0円	
会員拡大運動	通年	0円	

■1. 会員拡大2022

職務分掌：1. 会員拡大会議の設置・運営

1) 実施に至る背景：

現在の能代山本地域における我々青年世代(20~40歳)の

人口は減少してきており、L O Mの会員数もそれに伴い減少傾向にあります。そのような中においても、我々はより多くのリーダーを輩出し続け、志を同じくする仲間を募る必要があります。

2) 目的：

メンバー一人ひとりが勧誘活動に当事者意識をもち組織を強化することを目的とします。

3) 実施期間：

2022年1月(拡大運動の早期の開始のため)

4) 事業内容：

2022年定時総会で方針を説明。候補者リストの作成します。理事会後に委員会開催します。

■2. 3月定例会 対外交流事業 (異業種交流会)

職務分掌：2. 対外交流事業(3月定例会扱いにより)

1) 実施に至る背景：

青年世代を取り巻く環境が変化中、この5年間で会員数が10名以上減少しています。人口減少が進む能代山本地域において、地域を牽引していくリーダーとして活躍しう人材の発掘は急務であり、能代青年会議所は青年団体として業種や性別の枠を超えて一人でも多くの志を同じくする仲間を募り、さらなる運動の輪を広げていく必要があります。

2) 目的：

団体や業種の枠を超えた出会いから刺激を得るとともに、多くの成長の機会が提供される青年会議所の魅力を感じてもらいともに活動したいという思いを芽生えさせます。

3) 実施期間：

2022年3月

4) 事業内容：

能代山本地域の青年経済人(20歳から40歳)を集めての交流会を開催いたします。

■3. 11月定例会 (SDGsを学ぶ例会)

職務分掌：3. 社会圏分野を推進する事業(11月定例会扱いにより)

1) 実施に至る背景：

地域のためにJ C運動を展開する傍ら、入会後間もないメンバーは未だJ C運動の意味や目的を自らに落とし込めないままに在籍している現状があります。J C運動の意義やメンバーの想いについて理解を深めてもらう機会を提供する必要があります。

2) 目的：

メンバー一人ひとりにJ C運動の意味と必要性の理解を深め、これまで以上にJ C活動へ意欲的に取り組む機運を高めてもらうことを目的とします。

3) 実施期間：

2022年11月

4) 事業内容：

会員同志の絆を深める交流会を開催します。

委員長 鍋谷 暁
 担当副理事長 畠山 慶太

基本方針

- ④ LOMを牽引する人財の育成
 ⑥ SDGsにおける社会圏分野の推進

■設置背景

能代青年会議所は人口減少・少子高齢化、それに伴う経済の減退といった地域の課題に取り組み、持続可能なまちづくりを推進する運動を展開しています。よって地域の課題と向き合う高い意識と事業を構築し実現する能力をもった会員で溢れる持続可能なLOMを目指す必要があります。

■設置目的

メンバー一人ひとりの地域の課題に向き合う意識を醸成させると共に、事業を構築し実現する能力をより一層向上させ、組織を牽引する会員を育成することを目的とします。

事業計画

事業名	年月	予算	公益
1. 5月定例会（経営と持続可能な地域を考える例会）	2022年 5月	50,000円	
2. 7月定例会（SDGsを学ぶ例会）	2022年 7月	50,000円	
3. 若手会員向け研修（JCプログラム）	2022年 10月	90,000円	
黒松並木剪定（黒松並木剪定への協力対応）	2022年 6月・ 10月	0円	
職業講話への協力対応	通年	0円	
会員拡大運動	通年	0円	

■1. 5月定例会（経営と持続可能な地域を考える例会）

職務分掌：1. 社会圏分野を推進する事業

1) 実施に至る背景：

人口減少・少子高齢化、それに伴う経済の減退によって地域の持続可能性は低下しています。我々はこのような状況だからこそ、課題解決能力を持った組織を牽引する人財を育成・輩出し

ていかなければなりません。

- 2) 目的：
 課題解決能力を持った会員を育成し、今後のJC運動やさらなる個人の資質向上に繋げることを目的とします。
- 3) 実施期間：
 2022年5月（5月定例会扱いにより）
- 4) 事業内容：
 経営と持続可能な地域を考える会員向けセミナーを開催します。地域で活躍する経営者から課題解決に関する取り組みを学びます。

■2. 7月定例会（SDGsを学ぶ例会）

職務分掌：2. 全会員対象研修事業

- 1) 実施に至る背景：
 日本青年会議所はSDGs推進宣言を採択しており、能代青年会議所もSDGsを基軸としてJC運動を行っています。我々も青年経済人としてSDGsに対する理解を深め、地域の持続可能性向上に寄与する必要があります。
- 2) 目的：
 SDGsに関するより一層の知見を獲得し、今後のJC運動に繋げることを目的とします。
- 3) 実施期間：
 2022年7月（7月定例会扱いにより）
- 4) 事業内容：
 SDGsに関する会員向けセミナーを開催します。
 SDGsに関する実践的な取り組みや具体的な手法を学びます。

■3. 若手会員向け研修（JCプログラム）

職務分掌：3. 若手会員対象研修事業

- 1) 実施に至る背景：
 既存の地域課題に加えて我々の住み暮らす地域でも新型コロナウイルスの蔓延から生じた新たな課題も出てきました。よって時代の変化やリスクに対応し得る確かな判断力を持ち、新たな課題に対する自らの考えを的確に他者に伝えることができる人財を育成する必要があります。
- 2) 目的：
 常に目的意識をもち的確な判断をくだせる能力と自らの考えを的確に他者に伝える能力を向上させ、メンバー一人ひとりが事業の発展やJC運動に繋げることを目的とします。
- 3) 実施期間：
 2022年10月（拡大運動による新入会員増を見込んでいるため）
- 4) 事業内容：
 JC1日本公認プログラム等を用いて、新入会員対象のセミナーを行います。

事務局長 池 端 一 成
 専務理事 高 橋 武 寿

基本方針

⑤公正を貫く会の運営

■設置背景

昨年は周年を通じ諸先輩方が積み上げてきた70年の歴史と伝統を継承し、また新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらもJC運動・活動を続け、メンバーが一段と成長した一年でありました。昨年の追風と逆風の機会を得て奮起したメンバーが多く在籍している本年度は、先の未来を切り拓くために一歩先を見据え半歩先の行動へと導く公正な会の運営が必要です。

■設置目的

円滑な情報共有と合意形成のしやすい環境整備とスムーズな運営を目的とします。

事業計画

事業名	年月	予算	公益
1. 能代市長選公開討論会	2022年 4月	50,000円	○
2. 八峰町長選公開討論会	4月	50,000円	○
3. 三種町長選公開討論会	5月	50,000円	○
1月定例会事業 定時総会の運営	1月	0円	
9月定例会事業 臨時総会の運営	6月	0円	
12月定例会事業 LOM卒業式への協力	12月	50,000円	
三役会議/理事会議の運営	通年	0円	
事務局財務管理/庶務全般	通年	0円	
褒章エントリー及び青年会議所 所対外事業への参画対応	通年	0円	
出向者/新入会員への支援活動	通年	0円	
能代青年会議所の事業取材依頼 活動	通年	0円	

■1. 能代市長選公開討論会 職務分掌：1. 公開討論会

- 1) 実施に至る背景：
能代市長が2022年4月に任期満了となり、市長選が行われる予定となっています。市の代表を決め地域の未来がかかる重要な局面に、立候補者が一斉に揃い共通のテーマでそれぞれの考えを聞く機会は多くありません。政治的に中立で一定の社会的信用がある能代青年会議所が、市民に対し立候補者の考えをしっかりと聞いた上で選択できる公正な機会を提供する必要があります。
- 2) 目的：
市民が立候補者の考えを聞く機会の提供と未来へと繋がる意思決定を促すことを目的とします。
- 3) 実施期間：
2022年4月（市長選が4月開催により）
- 4) 事業内容：
会場は能代市の公共施設を利用します。（新型コロナウイルス感染拡大の場合、オンラインでの開催を検討）
立候補者に出席してもらい、各テーマに沿って討論を行います。討論については、コーディネーターが進行します。リンカーン・フォーラムの方式に則って開催します。能代市民に参加してもらいます。

■2. 八峰町長選公開討論会

- 職務分掌：1. 公開討論会
- 1) 八峰町長が2022年4月に任期満了となり、町長選が行われる予定となっています。町の代表を決め地域の未来がかかる重要な局面に、立候補者が一斉に揃い共通のテーマでそれぞれの考えを聞く機会は多くありません。政治的に中立で一定の社会的信用がある能代青年会議所が、町民に対し立候補者の考えをしっかりと聞いた上で選択できる公正な機会を提供する必要があります。
 - 2) 町民が立候補者の考えを聞く機会の提供と未来へと繋がる意思決定を促すことを目的とします。
 - 3) 2022年4月（市長選が4月開催により）
 - 4) 会場は八峰町の公共施設を利用します。（新型コロナウイルス感染拡大の場合、オンラインでの開催を検討）
立候補者に出席してもらい、各テーマに沿って討論を行います。討論については、コーディネーターが進行します。リンカーン・フォーラムの方式に則って開催します。八峰町民に参加してもらいます。

■3. 三種町長選公開討論会

- 職務分掌：1. 公開討論会
- 1) 三種町長が2022年5月に任期満了となり、町長選が行われる予定となっています。町の代表を決め地域の未来がかかる重要な局面に、立候補者が一斉に揃い共通のテーマでそれぞれの考えを聞く機会は多くありません。政治的に中立で一定の社会的信用がある能代青年会議所が、町民に対し立候補者の考えをしっかりと聞いた上で選択できる公正な機会を提供する必要があります。
 - 2) 町民が立候補者の考えを聞く機会の提供と未来へと繋がる意思決定を促すことを目的とします。
 - 3) 2022年5月（町長選が5月開催により）
 - 4) 会場は三種町の公共施設を利用します。（新型コロナウイルス感染拡大の場合、オンラインでの開催を検討）
立候補者に出席してもらい、各テーマに沿って討論を行います。討論については、コーディネーターが進行します。リンカーン・フォーラムの方式に則って開催します。三種町民に参加してもらいます。